

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	23	ゆっくりとコミュニケーションをとるのが難しく、業務的な声がけ、対応が見られることがある。	入居者との信頼関係の再確認と、必要に応じた再構築。	まずは担当入居者と世間話をしたり、一緒に過ごす時間を一日の中に取り入れる。 食器洗い等よりも優先して関わる時間を取る。 職員間で「今時間取っても大丈夫だよ」等の声をかけ合う。 作業を一緒にするとしても、コミュニケーションを取りながら行い、お礼を伝えるだけの場とせずに過ごす。	12か月
2	40	食事作りに入居者の参加を促すことができていない。	調理の下拵えの段階、調理そのもの、盛り付けならできる等、個々に合わせた参加を促すことができる。	できる事をしていただくことで、残存機能の維持に繋がることを理解し、誰がどの段階であれば参加できるかを提示して実施する。 盛り付けについては概ね理解できているため、下拵えや調理そのものを一緒に行うという意識を持って関わる。 入居者の多少の間違いや失敗しても良しとして関わっていく。	6か月
3	45	ゆっくり入浴対応ができていない。	少しでもリラックスして入浴時間を過ごせる。	体調面も考慮する必要があるため、多くの入居者が長湯は難しいが、音楽をかけたり、話をしたい方もいるため、個々に合わせた入り方ができるようにする。 ゆっくりと入る時間を確保するためにも、入浴対応に早めに入るように、出勤者間で連携を取る。 音楽をかけながら、リラックスできる環境を整える。	6か月
4					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。